

信州は松本の袖山さんから鶺鴒のメールへの返信をいただきました。

鶺鴒 さん、

「安曇野の春の蝶歴は、ギフチョウとヒメギフチョウで幕があく。同時に二つの蝶便りは、信濃の山里の長い冬が終わって、本当の春が訪れたことを告げる」――これは田淵先生より戴いた本の文章です。豊科に住まれた先生は松本深志高校の生物の山崎先生と共に信州の誇る先生です。

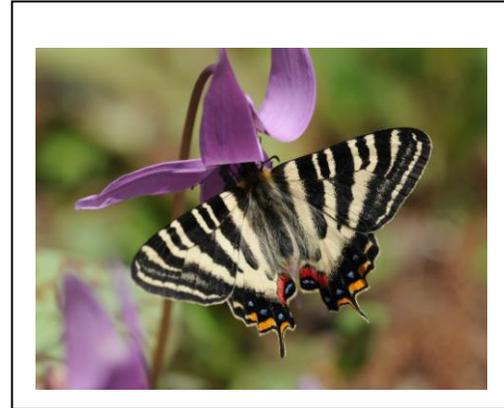
寒い信州もようやく春が訪れ生物も植物も一斉に芽吹いて生活を始めます。深志高校の桜も蕾状態のこの頃です。最近落の臺を取って来て落味噌を姉に作って貰い食しました。GOLF場の南斜面に沢山あって採って来ました。知らない事ばかりで地元の方に教えて戴いています。これから畑作が始まります。楽しみです。

GLEEの会長職大変ですね。でも鶺鴒さんなら大変を簡単にこなし楽しんでいくと思います。頑張ってください。

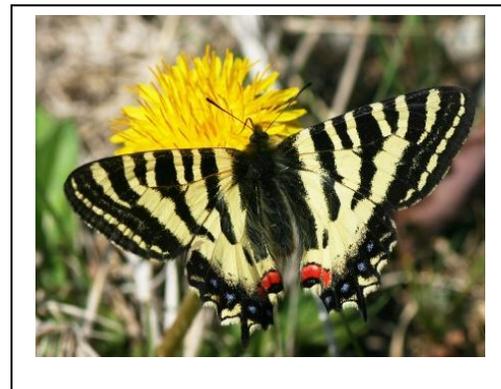
袖山 哲

(註) 田淵先生：蝶々の世界、特に高山蝶についての日本の第一人者、当然信州にお住まいで袖山さんご夫妻とも知己の高山蝶研究家・山岳写真家。

深志高校：始業のベルが鳴り始めてからでも、走ってゆけば授業に遅刻しない距離にある袖山さんの母校。



ギフチョウ



ヒメギフチョウ



松本深志高校